

平成30年度
決算報告書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

学校法人 龍澤学館

資金収支計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

学校法人 龍澤学館

単位:千円

科 目	H30年度実績
納付金収入	2,580,845
寄付金補助金収入	462,563
その他の収入	4,229,025
資金収入調整勘定	△ 1,259,963
前年度繰越支払資金	3,201,145
収入の部 合 計	9,213,615
人件費・教育管理経費支出	3,183,617
その他の支出	2,699,992
資金支出調整勘定	△ 128,518
次年度支出調整勘定	3,458,524
支出の部 合 計	9,213,615

事業活動収支計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

学校法人 龍澤学館

単位:千円

科 目	H30年度実績
教育活動収支	
納付金収入	2,581,014
寄付金補助金収入	467,718
その他の収入	509,249
教育活動収入計	3,557,981
人件費・教育管理経費支出	3,419,668
その他の支出	2,711
教育活動支出計	3,422,379
教育活動収支差額	135,602
教育活動外収支	
教育活動外収支差額	△ 14,446
特別収支	
特別収支差額	△ 6,735
当年度収支差額	114,421

貸借対照表

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

学校法人 龍澤学館

単位:千円

資 産 の 部	
科 目	H30年度
固定資産	7,281,521
流動資産	3,791,106
資産の部合計	11,072,627
負 債 ・ 純 資 産 の 部	
科 目	H30年度
固定負債	944,052
流動負債	1,996,302
負債の部合計	2,940,354
基本金	11,048,636
翌年度繰越収支差額	△ 2,916,363
純資産の部合計	8,132,273
負債及び純資産の部合計	11,072,627

平成30年度 財産目録

平成31年3月31日 現在

学校法人 龍澤学館

単位:千円

資産の部	
区 分	金 額
基本財産	
土地・建物・備品等	7,281,521
運用財産	
現金・預金等	3,791,106
資産の部合計	11,072,627
負債の部	
区 分	金 額
固定負債	
借入金等	944,052
流動負債	
未払金・前受金等	1,996,302
負債の部合計	2,940,354

独立監査人の監査報告書

令和元年 6 月 20 日

学校法人 龍澤学館
理事会 御中

公認会計士 上村幸雄事務所

公認会計士 上村幸雄



私たちは、私立学校振興助成法第 14 条第 3 項の規定に基づく監査報告を行うため、昭和 53 年 10 月 13 日付岩手県告示 1285 号に基づき、学校法人龍澤学館の平成 30 年度（平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで）の計算書類、すなわち、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む。）、事業活動収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）並びに収益事業に係る貸借対照表及び損益計算書について監査を行った。

計算書類に対する理事会の責任

理事会の責任は、学校法人会計基準（昭和 46 年文部省令第 18 号）に準拠して計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成し適正に表示するために理事会が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私たちの責任は、私たちが実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私たちの判断により、不正又は誤謬による計算書類の重要な虚偽表示のリスク評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私たちはリスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制

を検討する。また、監査には理事会が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類の表示を検討することが含まれる。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私たちは、上記の計算書類が、学校法人会計基準（昭和 46 年文部省令第 18 号）に準拠して、学校法人龍澤学館の平成 31 年 3 月 31 日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

学校法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

平成30年度 事業報告書

学校法人龍澤学館

目次

1	学校法人の沿革	1
2	学校法人の組織図	3
3	学生・生徒数の状況	4
4	理事・監事・評議員の概要	5
5	事業の概要	6

1 学校法人 龍澤学館 沿革

[設立] 昭和28年9月17日 龍澤福美が、盛岡市鷹匠小路に進学研究会を創立。
昭和38年3月14日 学校法人 龍澤学館として、岩手県知事より認可を受ける。

[建学の精神] 独立進取 研鑽努力

[代表者] 理事長 龍澤 正美 (平成6年9月就任)

[教職員数] 620名 (常勤教職員 275名、非常勤教職員 345名) ※30.5.1現在

[事業内容] 私立学校法人として10校を設置経営している。

[設置・経営] 法人本部 盛岡市大沢川原三丁目4番1号 電話 019-622-6357
FAX 019-623-3339

盛岡中央高等学校	盛岡市みたけ	(全日制課程) 1学科 (通信制課程) 1学科
盛岡中央高等学校附属中学校	盛岡市みたけ	
幼保連携型認定こども園 月が丘幼稚園・保育園	盛岡市月が丘	
盛岡情報ビジネス専門学校	盛岡市中央通	10学科
専門学校盛岡カレッジオブビジネス	盛岡市大沢川原	8学科
盛岡医療福祉専門学校	盛岡市大沢川原	9学科
専修学校盛岡中央ゼミナール	盛岡市大沢川原	1部門
盛岡公務員法律専門学校	盛岡市中央通	4学科
盛岡ペットワールド専門学校	盛岡市駅前通	5学科
盛岡看護医療大学校	盛岡市中央通	1学科

[関連会社・法人] ※ 人数は 30.4.1 現在

- (株) IBCソフトアルファ (コンピュータソフト開発、機器販売、人材派遣 社員数62名)
- (株) エムシーエス生涯学習センター (社会人教育、学習塾、教育ソフト販売 社員数47名)
- (株) 岩手ビッグブルズ (プロバスケットボールチームの運営、スポーツに関する情報提供サービス 社員数6名)
- 社会福祉法人盛岡ひまわり会・緑が丘ひまわり保育園・盛南ひまわり保育園 (職員数40名)

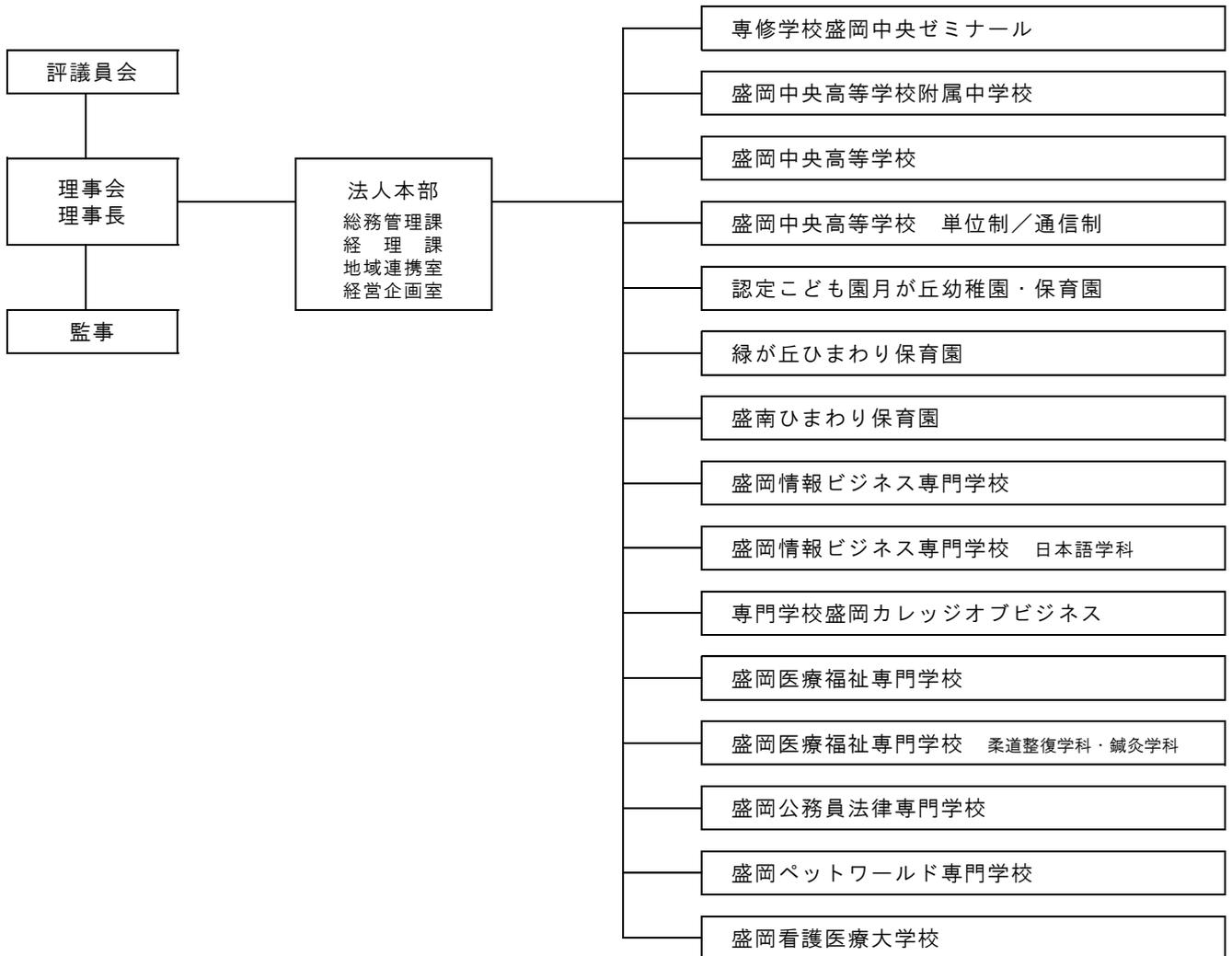
[沿革]

- 昭和28年 進学研究会 (高校受験・大学受験進学塾) 設立。
- 昭和33年 岩手県知事認可。龍澤予備校 (大学受験部・高校受験部) 設立。
- 昭和38年 龍澤高等学校 (普通科) 創設。
- 昭和53年 月が丘幼稚園設置、開園。
- 昭和59年 龍澤予備校創立30周年。新校舎完成移転。盛岡中央ゼミナールと校名改称。
- 昭和62年 盛岡情報ビジネス専門学校設置、開校。
- 平成2年 盛岡中央ゼミナールに河合塾サテライト講座開設。
- 平成4年 龍澤高等学校創立30周年。盛岡中央高等学校と校名改称。
- 平成8年 専門学校盛岡カレッジオブビジネス開校。
- 平成9年 盛岡医療福祉専門学校開校。
- 平成11年 (株) エムシーエス生涯学習センター設立。
- 平成15年 盛岡情報ビジネス専門学校 日本語学科開設。
- 平成16年 盛岡中央高等学校 単位制 (通信制課程) 開設。
- 平成17年 盛岡公務員法律専門学校、盛岡ペットワールド専門学校開校。
- 平成18年 盛岡医療福祉専門学校 柔道整復学科・鍼灸学科開設。
- 平成22年 緑が丘ひまわり保育園開園。
- 平成22年 (株) 岩手スポーツプロモーション設立。

- 平成25年 緑が丘ひまわり保育園が社会福祉法人に移管。
- 平成27年 幼保連携型認定こども園 月が丘幼稚園・保育園開園。
- 平成28年 盛岡看護医療大学校開校。
- 平成29年 社会福祉法人盛南ひまわり保育園開園。
- 平成30年 盛岡中央高等学校附属中学校開校。

(平成30年4月1日現在)

2 学校法人龍澤学館グループ H30年度組織図



3 学生・生徒数の状況(平成30年5月1日現在)

学校名	学科名	平成30年度 (人)	
		入学定員	収容定員
盛岡中央高等学校	全日制課程 普通科	240	720
	通信制課程 普通科	500	500
	小 計	740	1,220
盛岡中央高等学校附属中学校		70	70
月が丘幼稚園・保育園	0歳児	-	9
	1歳児	-	10
	2歳児	-	10
	3歳児	-	61
	4歳児	-	80
	5歳児	-	80
	小 計	-	250
盛岡情報ビジネス専門学校	ITエキスパート科	-	-
	高度情報工学科	20	80
	システム工学科	-	-
	総合システム工学科	20	60
	情報システム科	40	80
	WEBネットワーク科	-	-
	ネットワークセキュリティ科	20	40
	情報ビジネス科	40	80
	会計ビジネス科	20	40
	総合デザイン科	20	60
	デザイン科	100	200
	日本語学科	80	140
小 計	360	780	
専門学校盛岡カレッジオブビジネス	ホテルビジネス科	30	60
	ブライダルビジネス科	30	60
	トラベルビジネス科	30	60
	ファッション・ショップビジネス科	30	60
	総合ビジネス科	50	80
	国際ビジネス科	20	50
	パティシエ科	45	75
	起業マネジメント科	40	40
	小 計	275	485
盛岡医療福祉専門学校	介護福祉学科	80	160
	こども福祉学科	40	120
	こども未来学科	50	100
	医療事務学科	80	160
	社会福祉学科	40	120
	心理福祉学科	40	160
	スポーツ健康学科	40	80
	柔道整復学科	120	360
	鍼灸学科	60	180
小 計	550	1,440	
盛岡公務員法律専門学校	公務員専攻科	40	40
	公務員ビジネス科	90	190
	公務員上級学科	20	20
	キャリア総合学科	20	40
	小 計	170	290
盛岡ペットワールド専門学校	動物看護師科	30	60
	ペット美容トリマー科	40	80
	ドッグトレーナー科	20	40
	ペットショップビジネス科	20	40
	ペットマスター科	10	30
	小 計	120	250
専修学校盛岡中央ゼミナール	大学受験科	250	250
盛岡看護医療大学校	看護学科	40	120
合 計		2,575	5,155

4 理事・監事・評議員の概要

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

区 分	氏 名
理事長	龍澤 正美
理 事	佐々木 博
理 事	東嶋 末起
理 事	齋 藤 隆
理 事	富澤 正一
理 事	黒沼 芳朗
理 事	阿 部 正樹
理 事	龍澤 尚孝
理 事	石塚 恭路
監 事	藤澤 克典
監 事	及 川 邦雄

区 分	氏 名
評 議 員	龍澤 正美
評 議 員	山 口 光昭
評 議 員	北田 義四郎
評 議 員	北川 庄三郎
評 議 員	佐々木 博
評 議 員	黒沼 芳朗
評 議 員	東嶋 末起
評 議 員	齋 藤 隆
評 議 員	龍澤 尚孝
評 議 員	富澤 正一
評 議 員	遠藤 玲二
評 議 員	村 上 貢一
評 議 員	阿 部 正樹
評 議 員	龍澤 英宏
評 議 員	高橋 秀実
評 議 員	江刺家 永二
評 議 員	小館 喜久雄
評 議 員	石塚 恭路

5 事業の概要

事業の概要

1 全体として

少子高齢化が急速に進むなか、各学校ではその対応が求められている。このため当学校法人では、盛岡中央高等学校を中心にグローバル教育の推進、また進学のための学力向上の充実化を図っている。

また、専門学校においては、IT教育への対応や質の高い技術と知識の習得によるポテンシャルの向上も図っており、その結果が進学率や就職率に表れている。教職員も一丸となって、自らの教育訓練や教育環境の整備に鋭意努力している。

2 主な事業概要

(1) 盛岡中央高等学校附属中学校を新設

当学校法人の中核的教育方針として掲げている、地域特性を生かした人間教育とグローバル教育、IT教育等を推進すべく平成30年4月に盛岡中央高等学校附属中学校を設置した。中・高6か年の教育システムを導入することで教育効果の向上を図ること、また、国際理解教育によりグローバルリーダーを育成しつつ、岩手が生んだ偉人や伝統文化を学び、郷土を愛する心を育むことを心掛けた。

(2) 盛岡看護医療大学校で初の卒業生を輩出

地域医療に貢献する人材の育成を目指し、平成28年に開校した盛岡看護医療大学校で、第1回の卒業生38名を輩出し、その卒業生の国家試験合格率は97.4%と全国平均を上回り、全員の就職が決定し、県内就職率が70%を超えた。

(3) 盛岡医療福祉専門学校柔道整復学科・鍼灸学科の制度改革への対応

盛岡医療福祉専門学校柔道整復学科・鍼灸学科では、平成30年度から導入された教育制度改革に対応して、カリキュラムの大幅改編と実習受講のための施設の改築を実施した。主な内容は、大幅に増加した実習取得単位に対応するため、臨床実習のベット数を2床増設して6床とし、また外部患者受け入れのための施設と設備の充実を図った。また、外部の福祉施設やスポーツ施設などと提携することで学生の視察や見学の実践機会を確保した。

(4) 盛岡医療福祉専門学校通信教育部精神保健福祉士養成コースの開設準備

平成31年4月の開設を目指し、働きながら資格を取得しようとする志をサポートするため、既に開設している社会福祉士通信教育コースに加えて、精神保健衛生士短期養成コースの新設に着手した。

(5) CHUO国際教育フォーラム第20回記念大会の開催

グローバル人材教育の一環として毎年実施しているCHUO国際教育フォーラムは20回目の節目に当たり、カナダ、中国、オーストラリア、ベルギーなどの海外姉妹校及び岡山学芸館高校、沖縄尚学高校等17の国と地域から教員と生徒合わせて約100名が参加した。平成30年度のフォーラムのテーマのひとつである「世界を変えるための学校づくり」に関して活発な意見交換や討論が繰り広げられた。